

豊明市事務事業評価票（17年度事業） ソフト事業及びハード事業用

事業名	公共施設巡回バス		
総合計画上の事業名	交通基盤の整備	担当課	産業振興課
予算事業名	公共施設巡回バス負担金	担当係	商工振興係

事業の内容 市役所を起終点として、市内4路線のバス運行

事業の目的 高齢者や子供達等の交通弱者の社会参加促進及び公共施設利用の利便性向上並びに交通空白地帯の解消。

指標 1年間の利用者数

【実績値及び目標値】				
	実績(人)	目標(人)	職員数	事業費(決算見込額)千円
平成14年度	102,814			29,240
平成15年度	103,007			28,922
平成16年度	140,929	105,000	0.3	34,200
平成17年度	139,063	130,000	0.3	33,369
平成18年度		130,000	0.3	
平成19年度		150,000	0.3	
平成20年度		150,000	0.3	

事業実績値 【達成率】 106.97% 成果指標の当該年度目標に対する達成度

【必要性】	A	必要性、有効性、効率性、市民満足度については、チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなしから選択
【有効性】	A	
【効率性】	B	
【市民満足度】	B	

【総合評価(担当課)】 A 市民要望もあり、毎日運行に変更して利用者の増員が図れたが、更なる利便性を目指し、ダイヤ改正等の見直しを検討する必要もある。	総合評価については、 A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等) C 見直しが必要(縮小) D 廃止が相当 から選択
【総合評価(審査会)】 B ダイヤ改正、ルート増設時にはすべての有料化を検討すること	評価理由についても記載してください
【総合評価(最終評価)】 B	

【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入

現在運賃が無料となっている対象者(中学生以下の子ども、65歳以上の者、身体障害者手帳所持者等)の範囲等の見直し及び増便も含めて、今後公共施設巡回バス検討委員会に諮って、検討してもらう。

【改革プランへの対応】(何をどのように実施したか)

公共施設巡回バス検討委員会にて改正等を諮ったが、多くの委員より運賃の無料化は理解を得られなかった。なお、増便については、市の財政事情により今後の検討事項としたが、沓掛地区小学生の通学に利用できるよう運行開始時間を早めた。又、一部経路の変更並びに勅使台地区に延伸し利便性に努めた。